

加賀市年次報告書

本市が令和元年度に行った主な事業についてご紹介します。

園政策推進課 ☎72-7802

成長戦略

地域に根ざした教育による、笑顔あふれるまちづくり

●STEAM 教育事業（決算額 495 万円）

中学校 2 年生における教科の学びを横断的に活用して行う探究的な学習を推進

※ STEAM 教育…科学・技術・工学・芸術・数学を統合的に学習する教育手法



●プログラミング教育推進事業（決算額 2,058 万円）

小学校 4 年生から中学校 3 年生での総合的な学習の時間を中心としたプログラミングの体験を通して、生活とプログラミングを結びつける教育



▲コンピュータクラブハウス加賀

●ICT 活用学習支援推進事業（決算額 175 万円）

ドリル型 ICT 教材を活用した個別最適化学習を推進

●コンピュータクラブハウス運営事業（決算額 1,000 万円）

日本初のコンピュータクラブハウスを設置し、すべての子どもたちにもものづくりを通じた自己実現ができる環境を提供

観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり



▲マレーシア旅行会社招聘の様子

●海外都市交流事業（決算額 1,112 万円）

交流人口拡大のため台湾やシンガポール、エストニアなどと交流を実施

●インバウンド推進事業（決算額 1,668 万円）

アジアや欧米などへの戦略的な情報発信により海外からの誘客を促進

●都市圏誘客推進事業（決算額 4,267 万円）

さまざまな媒体を活用した観光宣伝・誘客活動を展開するとともに、旅行会社とのタイアップ旅行商品を企画造成。また、若者に特化した誘客施策を実施



▲整備中の湖岸遊歩道

●柴山潟湖岸遊歩道整備事業（決算額 1 億 1,365 万円）

柴山潟周辺の水辺景観を活用した湖岸遊歩道を整備

●手塚山公園再整備事業（決算額 5,186 万円）

手塚山公園（首洗池）の再整備工事と展望デッキの新設

成長戦略

ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり

●スマートシティ推進事業（決算額 838 万円）

さまざまな地域課題を、先端技術を活用して解決することで生活の質を向上させる「スマートシティ」の実現を目指し、その理念や方向性を示した「加賀市スマートシティ宣言」を公表



▲「加賀市スマートシティ宣言」の様子

●まちなか店舗立地支援事業（決算額 700 万円）

商店街などにおいて新規出店した人に対し、開店費用の1/2、最大100万円を補助。令和元年度実績は7人（100万円×7人）



▲「加賀ロボレーブ国際大会2019」の様子

●スマート加賀IoT推進事業（決算額 5,106 万円）

市内産業の高度化・強靱化に向け、IoTセミナーや実証事業を実施。また、新規事業創出に向け、スタートアップ企業を支援

●ロボレーブジャパン国際大会推進事業（決算額 1,483 万円）

ロボットのプログラミング技術を競う「ロボレーブ」の国際大会を開催し、国内外より154チーム405人が参加



▲アバター実証実験の様子

●アバター実装に向けた実証実験事業（決算額 525 万円）

山中温泉支所から市役所窓口課などへの相談や問い合わせに、遠隔操作ロボット「アバター」を使用する実証実験を実施

●MaaS推進事業（決算額 231 万円）

乗合タクシーの走行情報を収集し、次世代のモビリティ社会に向けたMaaSの推進のため車両情報の可視化によるデータ活用を検討

豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり

●加賀ごみ処理施設（焼却施設）・リサイクルプラザ基幹的設備改良事業（決算額 5 億 1,816 万円）

機械設備の老朽化のため、加賀市環境美化センターの基幹的設備改良工事を実施



▲加賀市環境美化センター

●温暖化防止実行計画（気候エネルギー行動計画）策定事業（決算額 604 万円）

加賀市版 RE100 の実現に向け、加賀市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定

●加賀温泉駅周辺施設整備事業（決算額 1 億 9,709 万円）

高架下都市施設や駅前広場などの実施設計。新幹線駅舎工事に伴う駅前広場の交通機能の仮移転を実施



▲加賀温泉駅前広場

みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり

●消防力の強化事業（決算額 1億1,669万円）

消防ポンプ自動車1台、消防分団車2台、分団車庫2施設の更新整備のほか、山中分署を改修



▲消防ポンプ自動車

●防災緊急システム情報伝達システム（防災行政無線）整備事業（決算額 1億6,273万円）

防災行政無線の移動系無線機（車載型・携帯型）や指定避難所などに戸別受信機を整備

●洪水ハザードマップ更新事業（決算額 1,004万円）

国が示した想定し得る最大規模（1000年以上に1回）の大雨を想定した新たな洪水ハザードマップを作成



▲整備した動橋分団車庫

●防災活動推進事業（決算額 455万円）

防災士の養成や備蓄用の備品などの購入のほか、地域BWA（高速データ通信サービス）を利用した避難所におけるWi-Fi環境整備、動橋地区自主防災会の防災資機材購入を支援



▲定住促進事業の様子

●ローカルベンチャー育成事業（決算額 5,240万円）

都市部から市内へ移住して起業を志望する「ローカルベンチャー」として「Next Commons Lab 加賀」の地域おこし協力隊の活動支援、育成支援

●加賀市定住促進事業（決算額 880万円）

市と市内事業所などの魅力を情報発信することで、U・Iターン希望者に移住・定住を促進



▲移住相談会の様子

●移住・定住住宅取得助成事業（決算額 1億1,094万円）

市内で新たに住宅を取得する際の費用の一部や新たに三世代での同居・近居の開始に伴う住宅改修などの費用の一部を助成

●地域密着型サービス施設等整備助成事業（決算額 850万円）

動橋地区の介護事業所に介護予防拠点を整備し、地域住民活動の活性化を推進



▲手話講習会の様子

●手話施策推進事業（決算額 231万円）

手話への理解・普及啓発を促進するため、手話通訳者の派遣、手話奉仕員養成研修や小学生手話教室などを開催

将来への備え

安心の子育てによる、笑顔あふれるまちづくり

- 保育園等給食費無料化事業（決算額 1,925 万円）**
幼児教育・保育の無償化の開始に伴い、実費化された3歳から5歳児の副食費相当を無料化
- 不妊治療費等助成事業（決算額 630 万円）**
不妊治療を受ける夫婦の経済的負担軽減、少子化対策の充実を図ることを目的とし、治療費の一部を助成
- （仮称）片山津地区保育園建設事業（決算額 1,293 万円）**
金明・湖北・潮津の3保育園を再編し、新たな保育園を建設するための設計および調査を実施
- 中央公園遊具整備事業（決算額 6,039 万円）**
中央公園おとぎの国のリニューアルに向け、造成工事と休憩所を整備
- 学童クラブさくみっ子拡張整備事業（決算額 757 万円）**
学童クラブさくみっ子を拡張し、専用のトイレなどを整備



▲中央公園おとぎの国



▲学童クラブさくみっ子

豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり

- こおろぎ橋架け替え事業（決算額 1 億 7,051 万円）**
平成30年度から引き続き架設工事を実施し、架け替えが完了
- 市道A第60号線（松島橋）整備事業（決算額 1 億 411 万円）**
橋梁の右岸側の橋台工事とそれに伴う護岸工事を施工
- 山中温泉地区都市再生整備計画事業（決算額 2,520 万円）**
温泉街の魅力向上のため、湯の本通りの散策路を整備
- 橋立自然公園健康グリーンパーク整備事業（決算額 2 億 2,761 万円）**
パークゴルフやグラウンドゴルフなどのグリーンスポーツを楽しむことができる健康増進施設を整備



▲令和元年10月に完成したこおろぎ橋



▲修理が行われる鴻玉荘

- 旧新家住宅保存修理事業（決算額 349 万円）**
市指定有形文化財「旧新家住宅」の離れ座敷（鴻玉荘）、茶室などを保存修理するための設計を実施